

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

しなやかで魅力あふれる産業中枢都市 豊田市

国道155号
豊田南バイパス
令和8年度
全線開通



2030年代初頭
新車両工場稼働予定



令和 8 年 6 月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、頻発する自然災害や甚大な被害が想定される大規模地震、埼玉県八潮市の道路陥没事故等に見る老朽化したインフラの保全等の課題に直面しており、国民の生命・財産・暮らしを守り抜くためには、防災・減災、国土強靱化等の危機管理投資を推進する必要があります。また、中東情勢の緊迫化等の外的環境が変化する中でも、強い地域経済の構築に向けて、成長投資を支える戦略的な社会資本整備等を推進するとともに、地方の大きな伸び代を活かす地域未来戦略や国土計画の実現に資するまちづくりの推進等に取り組み、日本列島を強く豊かにしていく必要があります。

世界をリードする産業中枢都市である本市においても、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、産業中枢都市としてこれまで以上に日本経済を牽引し強靱な国内経済基盤を構築するためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、国際競争力の強化や生産性の向上などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や加速化するインフラ施設の老朽化などの様々な課題を背景に、防災・減災が主流となる安心・安全な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は成長投資を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き強靱で効率的な人流・物流を実現する道路ネットワークの構築、予防保全型インフラメンテナンス及び DX 等の推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 強い地域経済の構築に向け、成長投資促進や生産性向上につながる幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 2 強靱で効率的な人流・物流を支え、事前防災を強化する幹線道路ネットワークの整備について、整備推進を図ること**
- 3 第1次国土強靱化実施中期計画を踏まえ、「令和の国土強靱化」対策を推進するため、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保するとともに、中東情勢による資材への影響にも適切に対応しながら、資材価格や労務費等の上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること**

■ 重点要望事項 ■

○太字は最重点要望事項

持続的な経済成長の実現

＜サプライチェーンの強靱化＞

○（都）**豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）の早期整備**

＜高規格道路へのアクセス性向上＞

○**国道 419 号（四郷拡幅）の早期整備**

- ・国道 301 号（益富拡幅）の早期整備
- ・国道 419 号（西中山バイパス）の早期整備
- ・国道 419 号（四郷亀首拡幅）の早期事業化

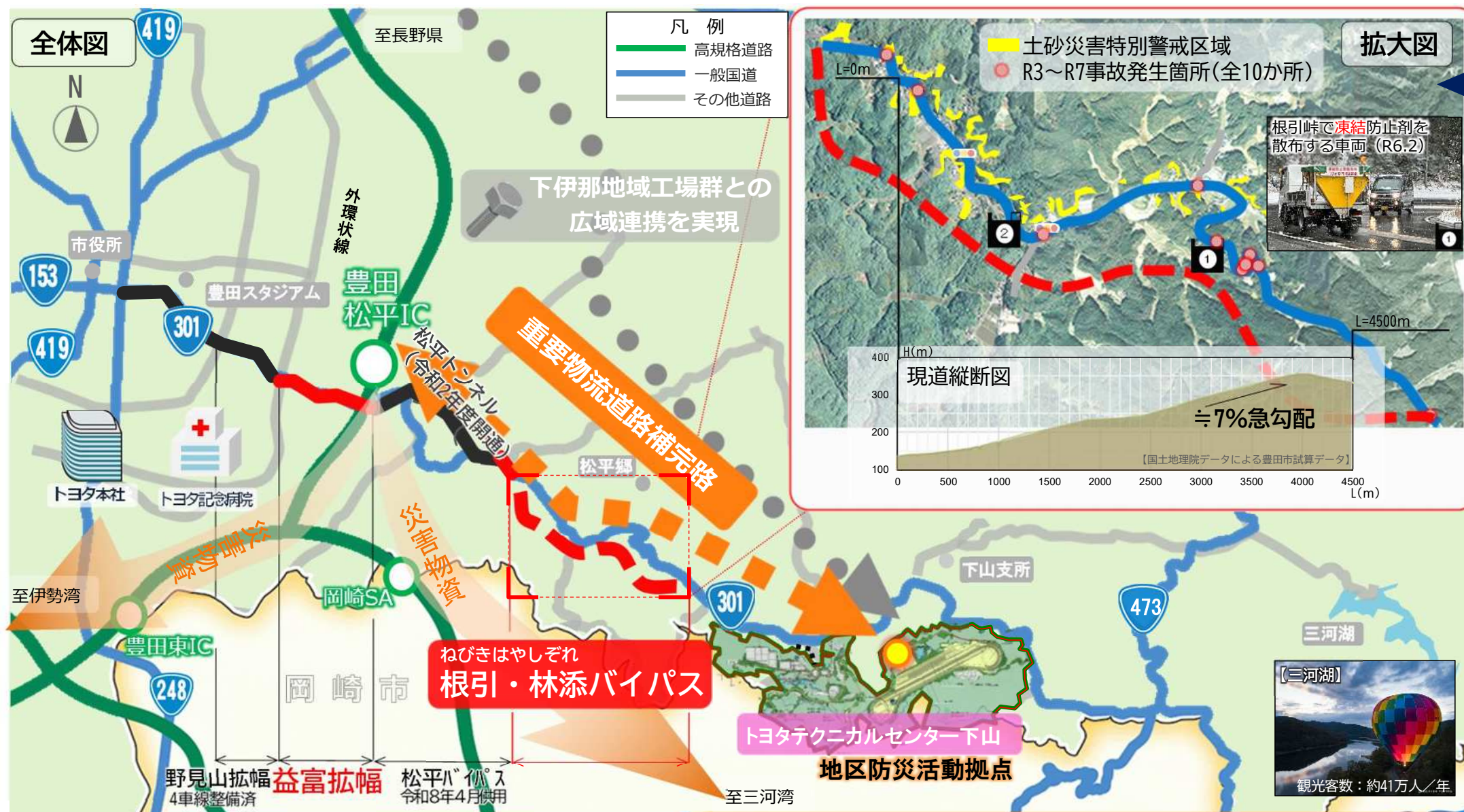
個性をいかした地域づくり

＜活力ある山村地域の実現＞

○**国道 301 号（根引・林添バイパス）の早期整備**

国道301号 根引・林添バイパス【県事業】～人・モノ・技術の交流と結合を実現する道路整備～

- 最先端の研究開発施設を支援し、国の基幹産業である自動車産業の更なる発展を実現
 - 安心・安全な山村地域の実現に必要な道路ネットワークを形成



現状と課題

連続する道路線形不良箇所

- 落石崩落箇所や交通事故発生地点が点在
- 第2次緊急輸送道路で、第3次救急医療施設のアクセス路
- 令和元年には死亡事故が発生。通学路にも指定

【国道301号(林添町)を横断する児童】

- 交通渋滞の発生
- 現道は急勾配・急カーブが続き大型車は減速
- 研究開発施設の稼働により、新たな交通需要の発生

【通勤時の交通状況】

至 トヨタテクニカルセンター下山

整備効果

山村地域のいのちと生活を守る

- 強靱な道路環境を実現
- 緊急輸送道路の代替性及び信頼性の確保
- 第3次救急医療施設や防災上の活動拠点へのアクセス性向上
- 大型・通勤車両の転換による交通安全の向上

【能登半島地震で崩壊した道路】

産業と観光の成長を支援

- 研究開発施設及び観光地へのアクセス性向上
- バイパス整備により、所要時間が約半分に
- 豊田松平IC・研究開発施設・観光地などのアクセス性が向上

【走行時間(分)】
 一根引・林添バイパス区間

整備前 ≒8.5分
 整備後 ≒4.7分
 所要時間約半分！

「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設

令和6年12月10日撮影

「Toyota Technical Center Shimoyama」

- 従業員数 3千人 (拡大し得る容量3,850人)
- 本社と下山間の出張者数 約22千人/年
- 開発車両の輸送 30便/日

根引・林添バイパスの開通により
 フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上！

アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

重要物流道路補完路に指定

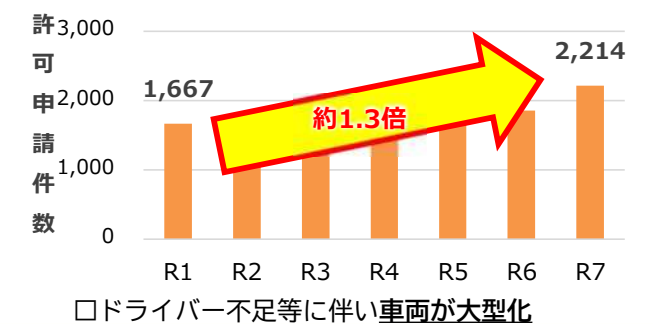
令和8年2月
 トヨタテクニカルセンター下山を新たな「地区防災活動拠点」に指定

■ 使用イメージ
 国道301号至近の敷地を全国から参集する自衛隊や消防隊など救援部隊の活動拠点としての使用を想定

敷地面積 約1ha

令和8年4月7日
 国道301号の豊田松平ICからトヨタテクニカルセンター下山までの区間を重要物流道路補完路として指定

- ## 現状と課題



(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】

～ものづくり産業の基盤を支え

高規格道路へのアクセス性を高める道路整備～

- 部品工場集積地と組立工場集積地を結ぶ、強靱なサプライチェーンを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安心・安全な道路交通の実現



現状と課題

周辺幹線道路に交通が集中

● 県道宮上知立線の慢性的な渋滞

- 国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所指定されているほか、県道宮上知立線も慢性的な渋滞が発生
- 渋滞を避けるため、通過交通が生活道路へ流入し、交通安全上危険な状態

県道宮上知立線の慢性的な渋滞 (写真③)



整備効果

道路交通の機能分担

- 交通事故発生時、災害発生時においても交通を確保し、物流の定時性を確保
- 現道区間の渋滞緩和、交通安全の向上



- 自動車産業のサプライチェーンを構築する部品工場集積地と組立工場集積地、高規格道路を接続し、物流の速達性を向上



豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



令和8年6月30日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長 豊 田 市 長

太 田 稔 彦

豊田市議会議長

岩 田 淳

豊田商工会議所会頭

杉 原 功 一